

令和元年度 部局長マネジメント方針

ひぐち みねお
消防局長 樋口 峰夫



私の決意

本年度は、新しい時代・令和への幕開けとなる記念すべき年度となります。

しかしながら、如何に時代が変遷しようとも、消防局では、昭和の時代から平成の時代へと連綿と受け継がれてきた普遍的な理念が存在し、私どもは、毎年度それを消防行政の基本方針として定め、職務を遂行する上において最大の目的としてまいりました。

それは、「市民生活の安全確保」という言葉（理念）です。

私はこの度、令和の時代への移行を契機に、この言葉を東大阪市消防局・局是として恒久的な道標といたしました。今後、私ども全ての消防職員は、この局是を達成することを使命として、それぞれの分野でプロ意識をもって、より高みを目指してまいります。

さて、災害は、いつ、どこで、どのような形で発生するかは予測が困難であり、日本各地で想定外の被害が多数発生している状況にあります。

昨年度の本市におきましては、大規模な倉庫や工場火災が発生したほか、大阪府北部地震や台風第21号などの自然災害により多数の被害が確認されました。また、救急需要におきましては、高齢社会の進展や災害級の暑さと言われた過酷な気象状況により、救急出動は過去最高の件数を記録いたしました。このことから、全市的な救急需要対策に最適な場所として本年10月に西消防署本署に11隊目となる第2救急隊を配置運用することになりました。

このように、今後とも時流に応じた消防力の全体的な適正配置を行い、保有する消防力を十分に活用して消防職務を遂行してまいります。

そして、本年9月には、本市の一大イベントであるラグビーワールドカップ日本大会が花園ラグビー場で開催されます。我々消防局はこの大会での消防警戒を成功させるべく、大阪府や警察、自衛隊等の関係機関と連携強化を図り、綿密な準備を進めてまいりました。また、大会当日には、大阪市消防局をはじめ近隣の5消防本部から警備応援をいただき、東大阪市民はもちろん、本市を訪れる全ての皆様の負託に応えるべく、万全な消防体制で大会に臨んでまいります。

結びに、今後とも局是「市民生活の安全確保」のため、地域に一番身近な行政機関として、同じく地域防災の担い手たる消防団と一致団結して職務に邁進することを誓い、私の決意といたします。